

我ら信濃川・大河津分水を愛する！

NPO信濃川大河津資料館友の会
法人信濃川大河津資料館友の会

Vol. 29

平成24年9月発行

私のおすすめスポット 会員 山田 薫（燕市上諏訪在住）

◆分水から広がる越後平野の展望（@信濃川大河津資料館4階より）

大河津資料館の4階展望室から見る分水公園は素晴らしい景色である。遠くには弥彦山・国上山が大河津分水路の先にあり、手前には緑の分水可動堰が輝やしく、下流に向かって国道116号線の大河津橋（3代目）、JR越後線の鉄橋があり、春爛漫ともなれば、分水堤防の桜の満開の展望は最高である。特に公園の中の桜は見事であった。（今は堤防改修により桜木の移植等で少し時間がかかると思う。）桜木の中を歩く4月に行われる「おいらん道中」は絢爛豪華な花絵巻で全国的にも有名になり毎年行われている。

4階展望室から正面を見ると、大正13年の大河津分水工事竣工を祝った信濃川治水紀功碑と大河津分水完工60周年記念碑がある。また、公園に向かって見渡すと大河津分水路の広大な川・それを支える大河津分水可動堰がよく見える。公園の中には昭和6年補修工事竣工（主として可動堰建設工事）を記念した碑があり、また、補修工事に携わった方々がお金を出し合って建てた補修工事従業員一同の碑や全国の桜100選の碑等があり、家族連れが楽しく過ごせる環境が出来ております。（公園の中には遊具もあり、シートを広げる場所が広い。）

思い浮かべれば、小学生の頃は可動堰の水門が開放されていない時は、すぐ下流の床止めに入り小魚をつかむなり、仲間は可動堰近くで泳いだりした記憶があります。

平成24年は旧可動堰が80年を経過し撤去されてゆき、その役目を引き継ぐ新しい可動堰が大河を守り、地域の住民生活の安全安心を確保してくれることをお祈りします。

信濃川大河津資料館4階展望室からの眺望。春は桜、夏は涼風、秋は稻香、冬は渡鳥と、四季を通じて越後平野を感じることができる。



信濃川下流探訪バスツアー 参加者募集！

新潟市街地周辺を巡るとともに、新潟の魅力を学び、発信している子供たちとの交流のほか、信濃川最下流部における河川整備事業の視察を通し、信濃川に対する理解・認識をより一層深めます！

日時：平成24年10月22日（月）9:00～17:00

集合：大川津ふれあいセンターに9時
もしくは新潟ふるさと村に10時

会費：3500円（予定）

定員：25名（定員になり次第締め切ります）

主な見学地等：朱鷺メッセ（地元中学生がガイドしてくれます！意見交換会もあります）→栗ノ木川排水機場跡→山の下閘門排水機場→やすらぎ堤耐震工事現場

※参加希望者は事務局までお申し込みください。



サケまつり・講演会 & 俳句を楽しむ会 いずれも参加自由です！

日時：平成24年10月6日（土）

【講演会】

時刻：10:00～11:00

会場：信濃川大河津資料館 2F 多目的ホール

講師：NPO 法人水環境技術研究会藤塚治義さん
サケに発信器を取付け信濃川を遡上する様子を追跡した話や信濃川の水生生物についてお話いただきます。

【サケまつり】

時刻：11:30～13:00

会場：信濃川大河津資料館玄関前

手作りのサケ汁とおにぎりで川の恵みに感謝！

【俳句を楽しむ会】

時刻：13:00～15:00

会場：信濃川大河津資料館 2F 多目的ホール

指導：田村紅子先生



団体会員紹介 我ら大河津分水応援隊！

やすらぎの聖地『分水西墓苑』

大倉産業株式会社

当社は、霊園・墓石のパイオニア企業として、県内外に多数の墓地を提供させていただいております。縁あって分水の地、旧分水町野中才に『分水西墓苑』を設置し、管理運営いたしております。悠々と流れる大河、大河津分水と日本海に沈む夕日、弥彦山に国上山とロケーションはまさに最高です。

誰もが、最後の棲家となるお墓。しかし、近年急速に進んできた核家族化、少子化は、お墓の跡継ぎ・守り手の心配や、親が子供にお墓作りを期待できないという不安や心配につながっています。

当社は、皆様のお墓についてのご心配を解消すべく、個人墓や夫婦墓などの永代供養墓のほか、永代に渡る管理についてご相談の上、最適なプランを提案させていただきます。

墓地は無限にあるものではありません。今のうちに、安らぎの聖地として墓地もお墓も用意して、老後を心安らかに暮らすという考えはいかがでしょうか。生前にお墓を作る『寿陵墓』、跡継ぎの有無に関係なく永代に渡る管理が約束される『永代供養墓』を、おすすめいたします。

分水のピア

株式会社石田商店

当社は、大河津資料館から1km位新潟方面へ行った所にある会社で「石田商店」という名前ですが自動車整備・販売をやっております。なぜ、「商会」でなく「商店」かということ・・・

明治の世、信濃川の大洪水・横田切れの前年に生まれた祖母が大正初期に祖父と共に自転車屋を始めたのが当社の始まりでした。その後バイクや自動車も扱うようになり、昭和29年に父が株式会社にした際「商店」にしたそうです。なぜ、父が「商店」にしたのか、今は亡き父から理由を聞かなかつたかと母に聞いても、知らないという事で残念です。

その母は65年前この分水に嫁いで来た時、夜になると分水のピア（可動堰）のゴーという水音が気になって眠れなかったそうです。そのピアや大河津分水路が先人の努力で約300年近い年月をかけてできた事にしみじみとありがたさを感じることなく、今、私たちは暮らしておりますが、分水運動を始められた本間屋数右衛門の2代に渡る想像を絶するご苦労に思いをはせた時「死後ネズミとなりても一線を通さん」という強い意志に感動し、心からの感謝を捧げたいと思います。

先人のご苦労を、ずっと伝えていって下さる信濃川大河津資料館友の会の皆様、ありがとうございます。友の会のますますのご発展をお祈りしております。

*ピアとは英語で橋脚の事を意味します。地元では可動堰の事をピアと呼んでいたそうです。

旧可動堰撤去工事が進んでいます

青山多恵さん、宮本信さんもお迎えして8月11日に撤去式が行われた旧可動堰では、本格的な取り壊し作業が急ピッチで進められています。

撤去式で、早川理事長は「感謝の涙」「別れの寂しさの涙」「新しい担い手が出来たうれしさの涙」で見送ろうと熱い想いを語られました。私たちも同じ想いで見送ろうではありませんか。

日々変化する旧可動堰の姿は信濃川河川事務所ホームページでご覧いただけます。



平成24年9月13日撮影

河川文化講演会

参加者募集

演題 「記憶に残る大河津分水」

日時：平成24年12月1日(土)14:00～16:00

会場：資料館2F多目的ホール

講師：樋口勲（友の会理事）

*参加希望者は事務局までお申し込みください

スタッフ募集

11/11(日)開催の大河津分水講演会の運営スタッフを募集します。

募集人数：20名程度

時間/所：10時～18時/分水公民館

お手伝い頂ける方は事務局までお申し出ください。

また、多数の聴講をお願いします。

友の会たより26号と23年度版あゆみの団体会員紹介コーナーで団体名に誤りがありました。ここにお詫びし訂正いたします。 誤-大蔵産業株式会社 正-大倉産業株式会社 申し訳ありませんでした。

<事務局連絡先>

〒959-0123 燕市大川津 1215-7

TEL 090-2673-6596(事務局長)、090-1996-1256(事務局)、FAX 0256-97-3682

e-mail ohkouzu_tomnokai@yahoo.co.jp <https://www.facebook.com/ohkouzuTOMO/>